

No.	発言のポイント	要旨
1	グローバルな認知度を高める先進的な取組を	グローバルな認知度を高めるための、先進的な取組みが求められる。
2	多文化共生社会	今後は多文化共生社会が時代の流れになる。労働力の低下が言われているが、それを補うのは女性、高齢者、外国人だ。性別や世代、文化の異なる人々が共生し、協働して、ともに社会を作っていくことが求められる。
3	外国人市民を含めた組織化を	多文化共生社会を目指すために、多国籍防災会議など、外国人市民も含めた安全・安心ネットワークの構築が重要だ。外国人市民会議を岡山市が開催しており、そこで提案された事案の中には市民協働でできることもある。意見を積極的に取り入れていくことだ。
4	留学生の増加と育成	日本と海外の架け橋となる優秀な留学生を増やし、人材として育成する。日本企業に就職したいと考えているアジアの留学生は非常に多い。留学生のために大学と産業界をまとめた地域のネットワークをつくり、留学生・大学・産業界をWIN-WINの関係にしていく。彼らは起業意欲も高いので、チャンスがあれば自ら起業する。
5	外国人市民への対応を	2005年から岡山市外国人市民会議を開催して、第4期を迎えている。外国人市民にも暮らしやすい岡山市を目指して、外国人の目線でさまざまな提案をしてもらっている。ただ、多言語の翻訳が十分でないことや、情報の発信・受信をどうするかが議論になっており、その点をしっかり対応することが必要だ。